# 電気と僕たちの生活

信州大学教育学部附属長野中学校
中学1年
片桐大成

電気といえば何が思い浮かぶだろうか。

光、雷、災害、神、熱・・・。僕の頭の中には電化製品がすぐに浮かんでくる。当たり前のように使っているエアコン、テレビ、パソコン、電球。身の回りには電気が使われているものがあふれている。明かりがあれば暗くなっても行動できるし、エアコンがあれば夏でも涼しい。パソコンやテレビからはいろいろな情報を手に入れることができる。電気が僕たちの生活を豊かにしているのだ。

実は、僕がいつも考えていることがある。それはリニアモーターカーだ。これは電磁石によって動いているらしい。僕はこのしくみを、車に使えたらいいのにと思っている。もし、車に使えたら、完全に電気自動車になって速くなる。位置を設定すればそこまで行けて、電磁石であるため、すべての車との間に

スペースができる。これによって、事故も減らせるかもしれない。電磁石で動けば安全で、且つ速度も増し、目的地をセットすれば自由に移動ができる。さらに止まることも簡単だ。

坂も楽に走れ、ソーラーパネルでの自己発電も考えられる。スピード違反も減るにちがいない。一か所でスピードは決められるので、片側を緊急用として空けておくこともできる

電気は、僕が考えたこと以外にもさまざまかもしれない。

な方法で僕たちの生活をよりよくしてくれるだろう。また、便利さだけを追求するのではなく、環境のことも考えていきたい。そうすれば、電気で環境問題を起こすのではなく、自然と調和していくこともきっとできるはずだ。今以上に、僕たちの未来は豊かさと自然との共生で明るくなるだろう。